

平成27年度行政評価結果の予算編成への反映

1. 行政評価について

平成23年度から開始している第5次上尾市総合計画では、計画の進ちよく管理について、「施策の目標指標を設定し、これを基に行政評価を行いながら進ちよく管理をする」とともに、平成28年度からの後期基本計画策定の際の基礎資料として活用する」としており、上尾市では施策評価と事務事業評価により行政評価を行っています。

施策評価は、第5次上尾市総合計画に掲げる48施策ごとに施策の目標指標の達成度などを用いて進ちよく状況を確認し、総合計画の効果的・効率的な推進を図るとともに、今後の施策展開の方向性を示すために実施するものです。

事務事業評価は、事業の必要性と効率性から評価を行い、限られた財源の中で効率的な行政運営を行うために実施するものです。

2. 事務事業評価及び施策評価の結果と予算への反映

事務事業評価では、746事業を必要性及び効率性の観点から評価し、結果が「見直し」となった25事業について、平成27年度行政評価により見直す事業にまとめています。この25事業については、今後の予算編成に確実に反映することとします。

施策評価では、平成26年度の目標指標の達成状況を踏まえた施策の進ちよく状況を総括表にまとめています。48施策中「A 順調」となっている施策が16、「B 概ね順調」となっている施策が28、「C やや遅れ」となっている施策が4となっています。昨年度と比較すると、「順調」が12から16に、「概ね順調」が27から28に増加し、「やや遅れ」が9から4に減少しています。とりわけ、「やや遅れ」の施策については、順調に進ちよくし目標が達成できるよう、原因を分析し、対策を講じた上で、今後の予算編成に反映することとします。